

## 平成 26 年度 研究成果報告書

### Research Achievement Report FY2014

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア・アフリカ講座 准教授
氏名 Name	竹 村 景 子
専門分野 Academic Field	スワヒリ語学・文学・文化論

主たる研究テーマ Principal Research Subject	(1) スワヒリ語のザンジバル島北部変種の記述研究 (2) スワヒリ語圏の女性のライフヒストリー研究
<p>(1) については、今年度は科学研究費補助金を獲得できなかったが、他の研究者の科研費によりザンジバル島北部県北部 A 郡のチャアニ村、ムクワジュニ村に行くことができたため、それらの村落において、基礎語彙 600 語の収集と接続法および命令法の表現を中心に記述調査を行なった。今回の調査では、昨年までの調査で暫定的にわかっていたことをかなり裏付けられたのではないかと考えている。具体的には、ザンジバル島北東に位置するトゥンバトゥ島からチャアニ村等に婚姻のために移住してきた女性たちがトゥンバトゥ島の変種を日常的に変わずに用いており、また、その変種はチャアニ変種とは語彙の面でも文法の面でもかなり異なっているということと、距離にして 35km ほどしか離れていないザンジバルタウンで話される「ザンジバル都市部変種」とは、接続法と命令法の表現に隔たりがあるということである。これらの差異については、チャアニ村の近隣諸村およびトゥンバトゥ島も含めてさらに詳しい記述調査をする必要があると考えている。</p> <p>これらの調査結果の一部は、研究室雑誌『スワヒリ&amp;アフリカ研究』にスワヒリ語で執筆して報告している。</p> <p>(2) については、上記の言語学的な調査とは別に、従来から行なっているザンジバル島における女性のライフヒストリーの聞き書き調査も行なった。昨年度までと同様に、生い立ち、親族関係、受けた教育、結婚、出産、子育て、家事、職業、信仰、人生観、ならびにこれまでの人生で見聞した歴史的な出来事など、多岐にわたる内容のインタビューを行なった。聞き書きは彼女たち自身の母語であるスワヒリ語諸変種でできる限り行なうという手法も継続した。これらの聞き書き調査の結果については、いずれスワヒリ語とその日本語訳を発表する予定である。</p> <p>これらの調査結果の一部は、大学院、学部の授業および共通教育の「アフリカの文化と社会を知る」の授業で講義し、日本におけるジェンダー問題との比較検討材料として用いている。</p>	